H30（ 10 山本 ）放課後子ども教室の活動報告

|  |  |
| --- | --- |
| 平成３０年度の○成果と●課題 | 平成３１年度へ向けた方策 |
| **１　子どもたちの育ちの状況**  〇あいさつ、礼儀の意識が高くなった。（挨拶は自分からが浸透）  　 〇今日は何がある？と興味を持って参加するようになった。  　 ●子ども教室に参加しないで友達と一緒にサッカーやドッジボールなどのスポーツを楽しんでいた。  　 ●自分でやり切ろうと頑張る児童が入ると思えば、すぐにできないと打ち上げ、手伝ってもらおうとする児童がいた | ・完了できなかった場合の対応策を事前に説明、やり切り　意識を高める。  ・工作のテーマなどは児童の声をもとに決め、（アンケート箱の設置　等）参加意欲を高める。 |
| **２　活動の内容・仕方・講師の声**  　・一般の人を対象とした習い事教室の講師による指導と児童厚生員の企画による「自由遊び」を実施した。  　<講師の声>  　・最初のころは言葉づいが悪かったり騒いだりする児童がいたが、回数を重ねるごとに指導しやすくなった。  　・緊張感や学びの意識が低い。講師もそれに慣れ、それぞれの場面に対応できた。 | ・解説教室、開催回数、取組み内容は今年度と同じとする。  ・習い事に参加しているとの意識向上策として保護者への見学啓発活動の実施。  　　　　　　↓  　講師が定期的に進捗状態や教室状態を紹介。 |
| **３　関係機関との連携**  （１）地　域  　・講師（指導者）とは別に補助員として準備や児童の見守りを地域市民から参加いただいて実施。  　・コミュニティ推進協議会が組織した「放課後子ども教室運営委員会」で現状確認、課題協議し地域団体と連携、推進。  （２）児童館・児童クラブ  　・毎月発行の児童館だよりに次月度「放課後子ども教室」開催案内を記載、当日児童に参加呼びかけ実施児童厚生員が企画、材料購入、勤務とは別に当日指導。  （３）学　校  　・体育館借用、先生が教室へ顔見せ。（児童の喜びが高まる）  （４）その他の機関  　・スポーツ教室は、長岡市スポーツ協会の公認指導者から指導を受けた。 | ・市内の大学、学生から講師になってもらい地域大学に親近感をもってもらう。  (H31年度は事前調査)  ・地域の若い人からお年寄りまで一緒にできるスポーツなどを企画。地域の人たちとの交流を深める。  ・コミセン文化祭への作品展示、発表会に参加する。 |
| **４　その他（参加募集や広報の仕方など工夫したこと）**  　・特別なことはしなかった。全児童に対してチラシを学校から配  布してもらった。各教室の紹介として実際の活動写真を掲載し  た。 | ・保護者への「児童クラブ説明会」  時に「放課後子ども教室」を理解  してもらうため、写真とともに参  加児童の感想等を紹介する。 |

＊来年度に向けた方策がありましたら、書ける範囲で記述をお願いします。